

平成27年度 弘前大学グローバル人材育成事業  
学生海外PBLプログラム報告書

申請者	所属部局・職名	教育学部・教授
	氏名	秋葉まり子
事業名	ベトナム語学研修と伝統工芸村で地域活性化について学ぶ	

事業の概要とその成果

【派遣者(指導教員, 参加学生)】

指導教員: 秋葉まり子

参加学生: 大学院教育学研究科1年 1名、学校教育教員養成課程2年 4名、同3年 1名

【実施期間】

平成 28 年 2 月 21 日～平成28 年 3 月 5 日

【事業概要とその成果】

本事業では、第1に、ベトナムでの語学研修によるコミュニケーション能力の育成と大学生同士の異文化交流を通してアジアへの関心を高めること、第2は、青森県が抱える課題でもある地域活性化、特に地域資源活用型のそれに注目して、ベトナム農村の取り組みの実態に触れながら、我々が住む地域の問題をグローバルな視点で捉え、考えを深めることを目的とした。

当初の計画に沿って、学生たちはベトナム国立大学ベトナム語学科ベトナム語コースに所属し、語学研修と他学部学生達との交流を図った。その後は、ベトナム社会科学院や農業農村計画研究所のコーディネーションを通して北部の5つの村を訪問し、ベトナムの三農問題(農業、農村、農家)の実態と共に、安全野菜生産モデル地区や伝統工芸村を通してそれらの問題克服のための取り組みを学んだ。加えて、当初の予定にはなかった県産りんごのベトナムにおける輸入や販売状況についても、関係機関へのインタビュー、試食会やアンケートも交えて現地調査を行った。

本事業を通して学生たちは、アジアの中にも、ベトナムのように親日的で、日本への期待や信頼が厚い国があること、そうした国々との連携を深めることに関心を持ち、両国が直面している同じ課題についても互いの経験、知識、情報を共有しあいながら、グローバルな視点で解決策を模索することの重要性を学ぶよい機会になったと思われ、県産りんごのベトナム輸出拡大の可能性の予測と共に、大きな成果が認められる。